

# まえがき

ルター研究所 所長 鈴木 浩

ルーテル学院大学は二〇〇九年に創立一〇〇周年を迎えた。ちなみにルター研究所は二〇一〇年に開設二五周年、ルーテル学院大学の姉妹校の九州学院は二〇一一年に創立一〇〇周年を迎えた。

創立一〇〇周年を記念して、ルーテル学院大学ではアメリカとドイツの大学と神学校の協力を得て、一連の神学講演を企画した。講演時期の順番に並べれば、以下のとおりである。

- 一、ロバート・コルブ「今日、福音をどう語りどう生きるか——ルター派の立場から」(二〇〇九年六月一七日、日本ルーテル教団六本木ルーテル教会)
- 二、ヨアヒム・リンググレーベン「ルターの聖餐理解」(二〇〇九年七月二三日、日本福音ルーテル東京教会)
- 三、マイケル・ルート「エキクメニカルな対話におけるルーテル教会、その過去と将来」(二〇〇九年九月四日、ルーテル学院大学)
- 四、マティアス・ベッツォルト「基礎神学 (Fundamentaltheologie) とはなにか——世俗化の脈絡における神学的基礎作業」(二〇一〇年三月二日、日本福音ルーテル東京教会)

本号に掲載したのは、そのときの講演を翻訳したものである。それぞれの訳者は講演会で通訳を務めた所員である。ロバート・コルプの訳者は江藤直純所員（ルーテル学院大学教授、日本ルーテル神学校校長）、ヨアヒム・リンググレーベンとマティアス・ペッツォルトの訳者は徳善義和所員（ルーテル学院大学、日本ルーテル神学校名誉教授）、マイケル・ルートの訳者は石居基夫所員（ルーテル学院大学准教授）である。

なお、講演当時、ロバート・コルプはミズーリ派ルーテル教会のコンコーディア神学校教授、ヨアヒム・リンググレーベンはドイツのゲッティンゲン大学の組織神学の教授、マイケル・ルートはサウスカロライナにあるサザン神学校の教授、マティアス・ペッツォルトはライプツィヒ大学の教授であった。ロバート・コルプとマイケル・ルートの講演は英語で、ヨアヒム・リンググレーベンとマティアス・ペッツォルトの講演はドイツ語で行われた。なお、次ページに掲載したポスターにペッツォルトの案内がないのは、彼の来日予定の決定が遅かったためである。

ルター研究所は二〇一〇年に開設二五周年を迎えたが、その記念事業として、一、「ルターの檜の木」の植樹式、二、開設二五周年記念チャリティーコンサート、三、「ルター新聞」のデザイン一新、四、ルターの説教『イエス・キリストについて』（一五三三年）のオリジナル版の復刻と翻訳の出版、それに加えて、創立一〇〇周年記念講演の翻訳を掲載した『ルター研究』第一〇巻の出版であった。それぞれでご奉仕くださった方々に改めて感謝したい。この『ルター研究』第一〇巻は二〇一〇年中には発行できなかったが、それでも年度内に発行できたのは、訳者の方々と出版を担当したリトソンのおかげであった。



創立 100 周年記念

# 連続神学講演会

今日の教会と信仰と神学にとっての中心的なテーマを巡って、国際的に活躍している神学者たちの連続講演会。通訳付き。  
入場料：各回 1,000 円 事前の申し込みは不要です。入場料は当日受付でお支払いください。

「現代に福音をどう語り、どう生きるか —ルター派の立場から—

**Dr. Robert Kolb** ロバート・コルブ博士  
6月17日(水) 14時 ————— NRK 六本木ルーテル教会

ミズーリ・ルーテル教会 LCMS の神学校、コンコルディア神学校教授。ルター派の信条集「一致信条書」  
The Book of Concord 第3巻の共編訳者。現代アメリカを代表するルター学者の一人。4月から7月まで  
神戸ルーテル神学校客員教授。

「ルターの聖餐理解」

**Dr. Joachim Ringleben** ヨアヒム・リングレーベン博士  
7月13日(月) 14時 ————— JELC 東京教会

ドイツ・グッティンゲン大学の組織神学教授。哲学と神学を修め、昨年は『イエス』という大著を出版。  
今日さまざまな議論されている聖餐について、ルターの考え方を理解に説く。

「エキュメニカル運動とルター派のアイデンティティー」

**Dr. Michael Root** マイケル・ルート博士  
9月4日(金) 14時 ————— ルーテル学院大学

サウスカロライナのサザンルーテル神学校教授。ルーテル世界連盟 LWF エキュメニカル研究所副所長として  
LWF とローマカトリック教会、聖公会との神学的対話の中心人物の一人。アメリカを代表するエキュメニズム  
の神学者。



日本ルーテル神学校  
JAPAN LUTHERAN THEOLOGICAL SEMINARY



ルーテル学院大学  
LUTHER COLLEGE UNIVERSITY